

平成 30 年 11 月 28 日

第 39 回日本陸上競技連盟トレーナー研修会報告書

記

1. 日時 平成 30 年 11 月 23 日（金）10：30～17：00
2. 場所 味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室、陸上競技場
3. 研修会 「現場における応急手当・救命手当」
「陸上競技会における救護活動シミュレーション」
4. 講師 田上 仁氏（ひのきの里 office ヒューマンクオーレ：日本陸連トレーナー部員）
小野谷 真吾氏（木曽広域消防本部 木曽消防署 救急救命士）
日本陸連トレーナー部委員

4. 内容

2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、トレーナー活動の 1 つであるスタジアム救護の知識および技術を深め、陸上競技大会における救護活動の充実化を図ることが一層必要とされています。

今回、「現場における応急手当・救命手当」というテーマで田上仁先生（ひのきの里 office ヒューマンクオーレ）と小野谷真吾先生（木曽広域消防本部木曽消防署）をお招きしました。研修前半では応急手当・救命手当の基礎から応用について先生方の経験や現場のお話も交えながら講義、実技指導をして頂きました。講義では基本の大切さの確認や、スポーツ現場の限られた環境、道具の下どのように工夫して対応するかについて学ばせて頂きました。そして実技では止血法、CPR や運搬法について注意点を確認しながら実際に体験し学ばせて頂きました。



研修後半では陸上競技に移動し、日本陸連トレーナー部委員の指導の下、実際の陸上競技場会における救護活動のシミュレーションを行いました。選手や競技会の安全管理だけでなく、トラック、フィールド競技各種目における注意点やルールの確認、審判や医師との連携について実践を行いました。講義で得た知識をどう現場の救護活動にいかしていくのか、考え方と実践方法をトレーナー部員同士で話し合いながら学ぶ場となりました。更に、今回は医事委員会の医師の方々にも参加して頂き、共通認識を高めることが出来ました。



最後に、講師の田上先生、小野谷先生に心より感謝申し上げます。

以上